

一般質問

5月定例会では、22人の議員が一般質問を行いました。
 本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。
 なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。
 ※掲載に時間がかかる場合があります。



鳥取県議会



会派正式名称

- 【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
- 【会派民主】会派民主
- 【公明党】公明党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部局長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

鹿島 功 議員



選挙区 西伯郡
 会派 自由民主党



家庭あんしん支え愛条例 (仮称)の制定にむけて

問 ストレスを抱え込みやすい現代社会の中で、精神・身体の障がいから思春期・高齢者に至るまで、幅広い内容に対応でき、当事者を含む家庭との信頼関係が構築できる相談機関が求められている。そこで医療と福祉と教育と、窓口が多岐にわたるので、水先案内人の役割を担うような総合相談支援センターが県内各地にあってもいいのではないかと。

答 専門家や当事者の方も一部入り、家族の安心支援、支えあいを支援する条例を検討する会を立ち上げ、片方で家庭まるごと相談窓口を開設した。さらに、ご指摘の家庭支援の有力な情報にもなるように東・中・西部圏域ごとに、家族の相談窓口を試験的に設けていくことを検討していきたい。また鳥取県が初となるレスパイト(※)を視点に入れて実効性のある柔軟な対応をまとめたい。

(※) レスパイト…家族等介護者の休息

福田 俊史 議員



選挙区 八頭郡
 会派 自由民主党



農家経営を支える 農業農村対策について

問 コロナ禍に伴う物流混乱にウクライナ危機が加わり、燃油や飼料など資材高騰が続いている。更に外食産業の低迷はコメ等農産物価格に影響し、農家収入はかつてない厳しい状況だ。そこで水田の多面的機能の維持、担い手不足や耕作放棄地の拡大など、今後の農業・農村対策について知事の所見を問う。

答 この度、国は農業基盤系強化のための促進法を国会で成立させ、今までの人・農地プランを更に強化しようとしている。本県としてもこの4月に農業経営・基盤強化の支援センターを県庁内に立ち上げた。担い手育成機構や市町村の農業委員会、JAなどと連携しながら、地域で農村や農業をどう守っていくのか、しっかり話し合い、ちょっと先の時代を見ながら展開していきたいと思っている。

一般質問

語堂 正範 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党



**① e スポーツの活用
② きのこ王国とっとり**

問 ① e スポーツは世代を超え活用できるツールである。協議会を設置し e スポーツを推進してはどうか② 本県のキクラゲは全国でも屈指の生産量である。県特産品の一つとして生産への更なる支援を行ってはどうか。生薬きのこ茯苓（ブクリョウ）の産地化を促進するには販売ルートの構築への支援、また、生薬に対する規制の緩和を国へ要求していく必要があるがどうか？

答 ① e スポーツは様々な可能性を秘めている。デジタル田園都市国家構想を進める上で、コンテンツビジネスの研究会を立ち上げたい② キクラゲは全国3位、上位2県と肩を並べる生産量である。生産者と一体となり、販路開拓、生産振興に努めたい。茯苓の販売は製薬会社とのパイプを探っていく。また、規制緩和は政府に対して要求をしていく。

島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党



支え愛の地域共生社会の実現に向けて

問 ヤングケアラーや社会的な孤立と見られるひきこもり、8050問題など家庭、地域が抱える課題に包括的に取り組む条例を検討されているが、この条例を基にどのように本県の福祉施策に取り組んでいくのか。

答 島谷議員が提起されていたさまざまな社会的な問題を一つにつなぎ合わせ、福祉の在り方、共生社会の哲学を根本から考え、8050問題、ヤングケアラー、老々介護など別々のものと考えられていた社会的課題に対する今までの伝統的な法律や福祉サービス、その理念をこの鳥取県から根本的に変えていきたい。そして、現実の社会に即した地域社会の中で、みんなで支え合い、当事者の生きがい、働きがい、社会参加などさまざまな課題にアプローチするような本当の意味での総合的な福祉に取り組んでいきたい。

由田 隆 議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属



**何故、進まないのか！
中部の災害復旧工事**

問 昨年7・8月の記録的豪雨は県内に大きな被害を出し、現在でも災害復旧工事が行われている。特に中部地区ではいまだに復旧工事に着手していない箇所が数多くあり、出水期を前に住民から不安の声を聞く。工事の遅延の原因と対策について伺う。

答 昨年の豪雨災害は平成30年に次ぐ記録的な被害が倉吉をはじめ中部に集中した。その中部地区では、農林関係では23% 86箇所、土木関係では1割が復旧工事に着手できていない現状となっている。遅れの原因は入札不調（応札者がいない）が主な原因である。現行の入札の制度では、区割り（東部・中部・西部）の規定を“災害時”には外せることになっていることから、これを運用できるか検証してみたい。

濱辺 義孝 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党



**労働者協同組合法周知
と相談体制の整備推進**

問 労働者協同組合法に基づく協同組合は、設立の手続きが簡単で、多様な就労機会の創出や持続可能な地域社会の実現に向け広く活用できることが期待される。一億総活躍プランにおいて目指す全員参加型の社会は、この協同組合の理念に通ずるものがあることから、周知に取り組むべきと考える。また、地域の課題解決のノウハウを活用した新たな相談体制が必要と感じるが知事に伺う。

答 この夏、関係者の協力をいただき、県民の皆様、市町村、労働関係者の方々に理解をしていただき、制度周知のPRイベントを開催する。また、既に実践されている方々のノウハウを生かす形での相談窓口や伴走型支援での法人立ち上げのサポート体制に取り組むなど検討したいと思う。

一般質問

澤 紀男 議員

選挙区 米子市
会派 公明党



障がい者アート 鳥取県立バリアフリー美術館

問 鳥取県立バリアフリー美術館は、障がいのある方たちの優れたアート作品を高精度でデジタル化し、分類、整理してウェブ上で検索し誰でもいつでも鑑賞できるバーチャル美術館として整備を行い、障がい者の芸術文化活動の理解を深め、更なる推進を図っている。障がい者アートの情報を発信する美術館として重要であり、令和7年度春に開館する予定の鳥取県立美術館との連携について伺う。

答 鳥取県立美術館では作品のデジタルアーカイブ化を進めており、県内の美術館のネットワークをデジタルを活用して行う計画としている。鳥取県立バリアフリー美術館はもっと立体的に見えるものであり、接続について教育委員会と具体的に協議をする。

内田 隆嗣 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党



鳥取環境大学新学部設置の可能性について

問 鳥取環境大学は、環境を冠する学部としての一定のブランド化には成功し、毎年1,000人以上、志願者を断らなくてはならない状況。国から県、市に10億5,000万円以上の交付税収入があり、それを財源に環境大学に運営費を交付している。大学に運営費を交付してもお釣りが出ている状況。環境大学本体の整備費は、鳥取県と鳥取市の折半で、校舎と研究機材の整備で108億円と校地整備費が62億円。土地があった場合、100億円に消費税くらいで、1学年300人規模の大学が作れる。自治体が設置費を案分して新学部を誘致したいという自治体があった場合、検討の余地があるのか？

答 実際にそれぞれの地域でお考えがあり、協議したいということであれば、私どもも真摯に対応をさせていただきたい。

市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属



平和、原発、物価高騰、給食無償化、教室不足

問 ①美保基地の新型空中給油機が敵基地攻撃能力に組込まれたら戦火呼び込まないか②米軍機騒音測定器設置の国要望は何年目で、いつ設置か③島根原発の偽造身分証明書入構問題。安全協定に基づき再稼働手続停止の措置要求を④物価高騰対策を⑤消費税減税とインボイス制度中止を⑥肥料代支援を⑦水田交付金削減撤回を⑧産地交付金増額を⑨県産小麦生産支援を⑩給食無償化を⑪富桑小学校が教室や学童保育の確保に苦勞。施設整備を。

答 ①国が判断②9年目。粘り強く働きかける③措置要求する危険は差し迫っていない④⑤議論見守る。インボイスは必要⑥国支援策の検討状況注視し県対応策検討⑦検証を要望⑧交付単価上げ可能⑨新たな国事業活用視野に支援⑩(教育長)無償化は市町村判断⑪(教育長)国要望し、環境づくりに心から注力する。

山口 雅志 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党



戦没者慰霊に学ぶ、休耕田と農業施設老朽化

問 ①地域ぐるみの平和教育と高齢化によって存続が危ぶまれる戦没者慰霊祭のあり方とは？②⑦学校給食を利用した米の需要拡大策は③休耕田を利用したガラス再生物による発電について④老朽化した農業施設の維持管理について。

答 ①教育サイドと協調して、語り部的な活動記録を更に充実させていき、遺族の方々と慰霊活動を工夫して進める②⑦(教育長)農林水産部と連携し、米の食材活用に継続して取り組む③鳥取市と一緒にSDGs未来都市を目指し、情報を共有化し活動をフォローしていきたい④農業施設の維持管理は地域での支え合いの意味で重要で、労務も含めて市町村と情報管理を行い、農林基盤交付金等を使うなど、地元負担をゼロにすることも念頭におき、幅広く支援していきたい。

一般質問

尾崎 薫 議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主



**①保育士等の処遇改善
②初の県立美術館建設**

問 ①国が保育士・介護士等の賃金アップのため処遇改善補助金給付を開始し歓迎されているが、小さな幼稚園、介護事業所では「付随する保険料や退職金が増える、基準以上の人員配置はカウントされない、事務作業が大変」などの懸念が多く聞かれたがどうか？

答 ①事務負担軽減には記入例を示し、資金面で難しいなら今回は加算であり収入は賄えることを丁寧に説明していく。更なる処遇改善、配置基準見直し等の実効性ある制度設計を国に要望していく。

問 ②美術館建設費高騰に伴う経費削減で非常用電源ランクを下げ、免震装置や展示ケースを減らすとの案だが機能は維持できるか。

答 ②(教育長)水準を上回る仕様は見直すか、機能低下しないように工夫している。

②後世に残すに足る美術館を造る時である。

中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党



森林政策、県営発電所のPFI事業

問 ①森林政策には、植えて、切って、使ったの循環が重要。皆伐再造林は、鹿の食害対策として苗木を柵や網で囲うが、先の冬の豪雪で、これが多大な被害にあった。皆伐再造林への機運が出てきた林業界のやる気を維持させるため、必要な対策を伺う②コンセッション以外の水力他17か所の発電所について、効率的な運営方法や在り方も含めた、将来的扱いを検討しているのか。また、県職員だけでも検討できるのか。

答 ①対策を関係者とよく話し合う。鹿対策も一層進める②内部検討では、これまでの検討過程の整理、対象施設の現状分析、エネルギー施策などの動向の整理や分析を行うとともに、経営シミュレーション等の検討の核の部分は、コンサルタント等の力を借りて進めていきたい。

浜田 妙子 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主



**①重度心身障がい児者
②ナスバの周知を**

問 ①コロナ禍で自宅療養を選んだコウキさん。今春普通学校に入学したエミリちゃん。二人の重症心身障がい児者事例から私達が共に生きる意味を問う。親の病気や亡き後の居場所として西部にグループホームが必要。数あるその他障がい者用グループホーム情報が不十分。エミリちゃん担任を二人体制に②一般に知られていないNASVA(ナスバ)は交通事故被害者支援を行っている。周知を。

答 ①地域の総力で出来た事例。この積み重ねで社会は発展する。現場主義で共生社会へ展開すべき。特に重症の課題は正面から取り上げたい。関係者を応援しグループホームを増やす努力をしたい。情報提供も知恵を絞る。(教育長)違いを共有し体現を繰り返す人は優しくなる。担任をしっかりサポートしたい②関係調整し活用が図られるよう努力したい。

松田 正 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党



**淀江産廃処理場計画
古代淀江遺跡回廊**

問 地下水等調査会の評価結果をもって、懸念されていた福井水源地の安全性は担保されたとの認識でよいのか。

答 福井水源地は天の真名井だとか孝霊山方面だとか、そうしたところの流れが入っている第3帯水層である。計画地の地下水は壺瓶山の西のほうに行く流れであり、交わる事はなく福井水源地への影響はないというのが先生方の取りまとめである。

問 東京で淀江出身の吹野氏、勝部氏とお会いした際、考古学等に特化した専門職大学を淀江地区に設置してはどうかとの提案があったが所見を伺う。

答 投資に値するかどうかということは考えなくてはならない。鳥取大学等と協議の場を持ったり情報共有を図ったりすることから始めてみたい。

一般質問

興治 英夫 議員

選挙区 倉吉市
会派 会派民主



①農業・農村対策②県立美術館長と屋外彫刻

問 ①⑦世界の食糧危機および米価下落対策として、政府が過剰米を買い取って海外援助米とすること①肥料高騰対策の実施②水田活用直接支払交付金の5年間水張りルールを導入しないことを国に要望してほしい②美術館長の人物像と就任時期は。屋外彫刻設置について、倉吉市の緑の彫刻賞の仕組みを県で引き継ぎ、選定してはどうか。

答 ①⑦傾聴に値する。国要望として考えられる①国に要望し、県として機動的に対応する②そば産地の耕作が困難になる、飼料作物の生産性が低下するなどの問題があり、国の実態調査の結果を見て、必要な要請活動をする②(教育長)地域との連携力、集客力などのある人材を、来年度予算に向けて人選している。倉吉市と連携の話を詰め、どんな手法ができるか前向きに検討する。

銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党



①コロナ下の飲食支援②訪問型産後ケア対策

問 ①支援金で生きていけるのではなく、生きがいを持って仕事ができるように、飲食店に行っているよと肯定的な施策展開をする、後押しすることが必要だ②⑦改正児童福祉法で訪問支援事業が新設され、施行まで子育て世帯訪問支援臨時特例事業でつなぐがどうか①専門性の高い訪問支援員が必要になる。産後ドゥーラのような民間資格を活用すべきでは②「家庭あんしん支え愛条例」に出産後の母親も対象にすべき。

答 ①飲食クーポンや観光支援を続けている、キャラバン隊を編成し、官民一体で店の利用促進を呼びかける②⑦非常に有効性が高い事業で、産後のフォローアップ対策を発展させる①新年度に向けて資格取得とか、ネットワークづくり、活用について政策を考える②条例に加える方向で調整する。

山川 智帆 議員

選挙区 米子市
会派 無所属



住民を守る仕組み土砂災害に行政ができる事

問 昨年の鳥取県は、土砂災害の発生状況が全国で5番目と多く、その対策は約2割しか進んでない。その要因は危険区域をほとんど個人が所有している事と受益者負担だ。経過よりも住民を守る具体策が必要だ。対策についてレポートをどう考えるか。

答 最高2割の受益者負担だが、本県は市町村に受益者負担を求め、市町村が地元はどう求めるかお任せしている。

問 所有者は土地を買ってといわれるが、これでは進まない。鹿児島では土地の無償提供をしている。全部買取りは困難なので危険性等を総合的に判断し重点的整備が必要では。

答 本県は原則買収をしているが、ローカルルールで負担金を取らないから土地を出せというようなことでやることもありえなくはないと思う。

野坂 道明 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党



「持続から再生へ」公共交通のあり方

問 自民党鳥取県連では在来線の線路と車両をそのままの形で活用し、関係線区のダイヤや運賃、料金の改定を工夫することにより鳥取県の鉄道アクセスを改善する方策を検討する調査事業を実施した。「乗って残そう鳥取県民運動」とも連動し、単なる持続から再生へと転換する可能性を秘めた試みだと思うが、調査報告に対する知事の所見を伺う。

答 JRの問題で大きなターニングポイントになるかもしれない。支え合って交通体系を残す未来志向での議論に一石を投じたと評価したい。発想として大変面白いと思うのは、毎時運行することによって乗客を増やせるのではないかと、それによって使う形でのJRの姿を見いだせないかとの問題意識であり、それは我々としても訴えかけられるところだと思う。簡単ではないが、よく議論したい。

一般質問

福浜 隆宏 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属



①ウイルス②サイバー対策③規制緩和④芝生

問 ①コロナ経験を、致死率15～20%と言われるH5N1由来の新型インフルエンザの備えに②事業所用サイバーセキュリティソフト導入に対する国補助がリースも対象になったが契約先は県外のみ。県内企業や団体に県から働きかけを③規制によりコインランドリーが設置できない住宅地から「免許返納すれば途端に困る」と悲鳴。緩和の検討を④ロボット芝刈機の有用性を発信し県産芝生の販路拡大を。公園や広場の芝生化にも支援を。

答 ①政府の在り方、医療機関との関係、水際体制など見直すべきだと思う②鳥取商工会議所に打診中。中核センターとして県内がつつなれば対策費もリーズナブルになる③国は弾力運用の方針で、県外では設置事例もあり市町村に紹介する④発信したい。芝生の広場はコミュニティの中心になる。応援する。

浜田 一哉 議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党



Withコロナにおける観光振興策について

問 ①外国人観光客が陽性となった場合の窓口体制、多言語に対応した病院の受入体制や対応は？②検疫体制確保について、国に経費負担を求めるべき③県産日本酒のインドへの輸出が注目を浴びている。誘客にも繋がる。GI(※)取得に向け、県も応援すべき。

答 ①受診相談センターや保健所等に対応し、言葉の問題はガイドが対応する。県内80の医療機関等で翻訳機を設置済み。国際交流財団のサポートによる通訳対応も可能②空港のスペースや人員の問題について、今月中に改めて問題点を詰めていく③ビーガンやハラール、ユダヤ系の対応や認証を取って、販売店を増やしたり、安心して観光や飲食が出来ることもある。改めて具体の事業者と話し合い、国際展開、観光支援といった観点で県としても応援をしていきたい。

伊藤 保 議員

選挙区 東伯郡
会派 会派民主



大山の水を持ち込み 鹿児島全共で日本一を

問 10月に5年に一度の和牛のオリンピックと言われている全国和牛能力共進会が、鹿児島で開催されるが、県としての目標とサポート体制は。

答 宮城全共で好成績を得た白鵬85の3の後継牛として「元花江」の子を出品牛として予定。脂肪交雑(霜降り度合い)で言うと現場後代検査の成績では9.8と、白鵬85の3を上回るものであり、オレイン酸の含有率が高い。厳しい戦いになると思うが、花の第6区(総合評価群)と第7区(脂肪の質評価群)で頂上を狙いたい。宮城全共時には、移動で30キロ以上痩せた牛がおり、過去の全共の反省を含めサポート体制を万全にしたい。特に、鹿児島の水は硬質系であり、牛の体調管理の観点からも、いつも飲みなれた大山の水を持ち込みたい。

森 雅幹 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主



県立美術館への作品寄贈、寄付の呼びかけ

問 島根県立美術館に2千数百点もの北斎コレクションが寄贈された。本県の県立美術館にも目玉作品が必要。お金はないわけだから、県内外、特に県人会の皆さん、成功されている皆さんに、作品の寄贈の呼びかけや作品の購入基金の財源のためのふるさと納税にぜひ力を入れていただきたい。

答(教育長) コレクションを充実していくために幅広く眠っている作品を集める呼びかけは大変有効な手段である。また、ふるさと納税でコレクションを共につくり上げる、非常に大きな意味が重なる。単に基金を集めるというだけでなく県外への企業への働きかけを通して、県立美術館の位置づけをしっかりとPRしていくことにもつながる。ふるさと納税の仕組みなど検討を進めたい。

(※) GI…品質等の基準を満たす産地・産品の名称(地理的表示)を知的財産として登録し保護する制度